



「女性の活躍」はもちろんのこと、社員一人ひとりの働き方にあった組織づくり

少子高齢化の進展に伴う、生産年齢人口の減少への対応

1968年兵庫県尼崎市にて先代が創業、その後1982年町中から現在の加東市に移転。

滝野工業団地という立地から、周りは非常にのどかな環境であり、交通の便は決してよいとは言えない地域。

当時企業規模、従業員については問題はなかったものの、2005年に現在の長沼社長が就任した頃、地域の人口流出が進んでおり、将来の人材確保に非常に不安を感じるようになった。その時に地域の女性・主婦層の取り込みが必要であると直感し、いかに社員として活躍してもらえるかを考え、たどり着いたのが「女性の働きやすさ」、個々の勤務形態をカスタマイズできるようにすることだった。当然、既存社員からはネガティブな反応が出たものの、長沼社長はアメリカでの経験もあり、雇用形態に対し柔軟にとらえられる仕組みを整え、女性社員の雇用を増やすことを決意した。

女性活躍に加え、多様性を受け入れる環境づくり

人材獲得に対し、まず思いついたのが主婦を取り込むことだった。そのため、主婦が働きやすいと思う状況は何なのか十分に検討し、生活のリズムに合わせた勤務体制を個々にカスタマイズすることにた



どり着いた。短時間勤務制度、スライド勤務制度の運用(例: Aさん 8:30~15:30 Bさん 9:00~16:00 Cさん 8:10~17:10 等)や、社内ネットワーク・システムによる在宅勤務制度の構築に取り組んだ。当初、女性中心の制度変更に対し男性社員からはよく思わない声も

出たが、休みづらい環境から徐々に変化を遂げ、休暇をとりやすい職場へと変わった。女性社員の成長のため、創立50周年記念式典準備委員会のプロジェクトリーダーに入社3年目の女性を抜擢。女性のモチベーション維持と能力向上のための取組を推進した。また、会社及び社員のさらなる成長を目指し、社内オリジナルの活動「みんな(Minna)で改善(Kaizen)」、「みんな(Minna)で活動(Katsudou)」の頭文字を取ったMK活動(QCサークル)を1978年から開始。月2回、1回30分、時間外ではなく勤務時間内にMK活動を実施し、活動結果は1グループ15分という持ち時間で発表している。発表会には顧客企業にも参加してもらい、講評をいただく事で改善と企業信頼度アップにつなげている。加えて、他部署とも連携することで横断的な仕事もスムーズにすすめることができる風通しの良い職場を作ることもつながった。

職場環境の改善にも力を入れ、社員のモチベーションが上がるようエントランス・工場の改装を行った。社会貢献、企業活動の観点から得意先・学校向けに、週2~3回オープンファクトリーを実施し、お客様、地域を巻きこんでの企業環境作りを行っている。

ライフスタイルに見合った働き方を

直近5年で売上も20億から35億と増え、社員数も約100人増え、雇用計画の見直しにより平均年齢も35歳と健全な社員構成ピラミッドにすることができた。女性の働きやすさを突き詰める過程で、女性社

員比率が43%までに引きあがり、女性管理職割合も20%となった。女性の育休取得及び復帰率も100%、男性の育休実績も取得した社員から「良かった」と声を上げることで、3ヶ月~4ヶ月間取得する社員も出てきた。

個々の生活スタイルに併せた勤務体制により副業・兼業の実施も進んでおり、よりワークライフバランスの向上につながっている。社内MK活動を通じ、若手の自立成長を促し、その結果発表を得意先にプレゼンすることで企業信頼度も上がり、社内外に好循環を作りだしている。

3年前に給与ベースアップ8%を実施したが、残業時間が半減し、人件費総額も毎年前年を下回る状況となっている。



企業情報

【業種】 プラスチック製造業 【資本金】 1億円 【従業員】 245名
 【所在地】 兵庫県加東市河高4004番地
 【HP】 <https://askacompany.co.jp/>

● **事業概要** プラスチック製品の開発製造(食品、文具、コスメ、トイレタリー、医療医薬関連等)を主事業に、IOT・AIを活用した生産機器システム開発等、幅広い事業を展開

● **各種アワード** 地域未来牽引企業(2017年)、厚生労働省「くるみん」「ユースエール」(2020年)、兵庫県「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」「ひょうご女性の活躍推進企業表彰」(2018年)等

